

取り組みを進めてまいります。

道路網の整備については、一般国道40号「幌富バイパス」整備事業は、平成16年度の用地買収に引き続き、工事着工となります。暫定盛土、防風緑地帯の植栽工事が予定されます。早期完成に向けて関係機関に引き続き要請してまいります。

また、天塩大橋についても、狭隘で交通安全上危険でありますので、架

け替えについて要請してまいります。

道道稚内幌延線の幌延十字街から踏切までの区間、豊富遠別線の栄橋から学前橋付近までの整備についても、関係機関に引き続き要請してまいります。

町道につきましては、継続事業で、幌延市街地の1条線、幌延1号線、集落地区の開進4号線、幌延下沼線の4路線について改良整備を進めます。また、地域の実情にあつた道路整備として、町道2条線及び1条伸通線、問寒21号線(墓地管理用)道路改良事業の調査設計業務を実施します。

公営住宅につきましては、平成16年度から2年間の継続で建設しております宮園団地の1棟12戸の完成をめざします。定住持家住宅の促進から、補助制度を引き続き実施するとともに「墓地の沢川」沿い町有地6区

画の宅地造成・分譲を進めてまいります。

簡易水道につきましては、安全で安心して飲める良質な水道水の供給に留意してまいります。

平成14年度完了しました公共下水道事業については、適切な維持管理と水洗化の普及率の向上に努めてまいります。また、集落地域の個別排水処理施設整備事業は、地域の希望に沿った年次計画で実施します。

近年、道路沿いに「ごみのポイ捨て」が見受けられます。清潔で美しいまちづくりを推進するため、町民一人ひとりの美化意識の高揚を図るとともに、町民のボランティアによる環境美化活動の実践を推進してまいります。消防体制の強化・近代化に必要な消防幌延支署庁舎新築事業については、平成17年8月の完成を目指して順調に進んでおります。

第二は、「生き生きとした魅力ある産業をつくる」施策であります。

基幹産業の酪農にあつては、BSE(牛海綿状脳症)等を契機に食の安全に対する国民の信頼が揺らぎ、所得の減少や乳製品の消費の低迷、更には平成18年末の最終合意に向けての次期WTO(世界貿易機関)農業交渉が大きな不安を与えております。

このような厳しい環境の中にあつても意欲と希望をもつて酪農経営に専念できるよう、幌延町農業協同組合をはじめ関係機関と協議・協力しながら強い体質の酪農業の推進を図ります。土地改良等の基盤整備事業は、国営かんがい排水事業を推進するとともに、幌延地区及び問寒別地区の畜産担い手育成総

合整備事業を継続し、草地や畜舎等の整備を進めます。

中山間地域等直接支払交付金事業については、継続することが決定しておりますが、内容の変更が取りざたされておりますので、内容が確定しましたら補正予算で対応しようと考えております。

安全な食料を供給するため良質の生乳生産が求められており、引き続き、乳牛検定組合・生乳成分検査事業及び乳質改善に必要な事業への支援を進めてまいります。

また、良質乳の生産環境の改善を図るため、幌延地区の集乳道整備である道営農道整備事業調査計画業務に着手します。森林の有する国土保全、水源涵養及び自然環境の保全等多面的機能を増進するため、町有林や民有林の整備を図るとともに、森林基幹道雄興・問寒別線、森林管理道上幌延線



消防庁舎建設現場にて、フェンスに壁画を描く子ども達